

科学ヘジャンプ・イン・広島2011 報告書

自主開催

Jump-to-Science in HIROSHIMA 2011 Report

概要

日程：平成23年11月20日(日) 10時～15時30分
 会場：広島県立広島中央特別支援学校
 対象：視覚障害のある小学校3年生以上の小中高生
 で、科学に興味を持ち、当日のイベントに参加
 可能な関東地区の児童・生徒
 参加者：29名(小学生16名、中学生12名、高校生1名)
 保護者・付添い人：20名
 見学者：3名
 スタッフ：92名
 主催：科学ヘジャンプ・イン・広島実行委員会
 後援：全国盲学校長会

- ☆ 地域のスタッフが中心となったワークショップを実施した
- ☆ ワークショップ数も参加者数も昨年より増加

プログラム

10:00～10:30 受付
 10:30～10:50 開会の集い
 11:00～12:30 ワークショップ、保護者企画 (WS見学)

- ・てをつかってみよう
- ・重さ博士になろう
- ・敷き詰めて実感！
多さ・大きさ・重さ
- ・シロクマはなぜ大きいのか？
一体積と表面積の不思議ー
- ・電池作りに挑戦しよう
- ・ネイチャア・フィーリング
- ・自分で実験し、耳で手で、化学変化を実感しよう！
- ・樹木の年輪からむかし話を聞こう！ー樹木は私たちにどのように語りかけるの？ー
- ・川のはたらきを調べよう
- ・勾玉を作ってみよう！
- ・チャレンジしよう！体と言葉の世界

12:30～13:20 昼休み
 13:30～15:00 ワークショップ、保護者企画 (意見交換会)

- ・敷き詰めて実感！多さ・大きさ・重さ
- ・てをつかってみよう
- ・川のはたらきを調べよう
- ・火を扱うヒトとしての進化の一步を踏みだそう
- ・樹木の年輪からむかし話を聞こう！ー樹木は私たちにどのように語りかけるの？ー
- ・秋をみつけよう(ネイチャア・フィーリング)
- ・電池作りに挑戦しよう
- ・重さ博士になろう
- ・勾玉を作ってみよう！
- ・近道を見つけよう！

15:10～15:30 閉会式

シロクマはなぜ大きいのか？



重さ博士になろう



敷き詰めて実感！多さ・大きさ・重さ てをつかってみよう



ネイチャア・フィーリング



樹木の年輪からむかし話を聞こう！



近道を見つけよう！



電池作りに挑戦しよう



感想(生徒)

- ・分かりやすく説明してくれた。
- ・昨年も参加して今年はキャンプにも行った。今日もとても楽しくて来年もやりたい。
- ・ぜひ次回もお願いします。

感想(保護者)

- ・科学ヘジャンプは娘の気持ちを大きく前進させてくれました。どうか今後も続けていただき、ハンディを持った子ども達に希望を与えてほしいです。
- ・出来るだけ多くの方に参加してもらいたいと思ったので、毎年場所を変えていろんな方に知ってもらいたいと思いました。協力できることはしていきたいと思います。
- ・各ワークショップの先生が専門性が高いのに私たちにはとてもわかりやすい授業でした。同じ障害を持つ保護者の方の話が聞くことが出来本当によかったです。
- ・テーマはどのような物であれ同じ障害を持った本人、家族が集う機会を得られたことに感謝します。